

平成27年5月15日

まちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門・“はじめての一步”部門」  
**まちづくり活動提案書**

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

提案名	シニアのためのハロウィン仮装フェスティバルin藤が丘		
団体名	特定非営利活動法人PPKグループ		
提案の活動を行う地域	名古屋市名東区		
提案の内容	<p>目的：住民の方々、特に高齢者の方々が気軽に参加して楽しめるイベントを行うことにより、参加者相互、及び地域との交流の場を提供して地域活性化の一助とする。</p> <p>内容：ハロウィン衣装に身を包んだ高齢者の方々の仮装コンテスト、コスプレ自慢のショー、よさこいシニアチームの演舞等です。フェスティバルの最後にはコンテストに出場にした方々が、藤が丘駅前から商店街をとおり、明が丘公園までの約1キロを仮装パレードします。終点の明が丘公園では地域の子供たちにハロウィンのお菓子を配る等の交流を深めながら、高齢者の地域参加の促進を図ります。</p> <p>① ハロウィン仮装コンテスト&amp;審査                  ② コスプレ自慢のショー                  ③ よさこいシニアグループの演舞                  ④ 商店街の仮装パレード</p> <p>日時：平成27年10月31日（土）                  場所：藤が丘駅リニモス広場                  参加者：仮装コンテスト20組                            コスプレ自慢のショー20組                            よさこいシニアグループ約100名                            子供たち約60名                  見学者：500名</p>		
活動期間	平成27年4月～平成28年3月	助成金交付申請額	30万円

## 2 提案内容について

「1 提案の内容」について、以下の4つの視点で具体的に活動内容をご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根ざしたまちづくり活動内容か</li> <li>・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か</li> <li>・地域との連携や協力が得られる活動か</li> <li>・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か</li> <li>・工事を伴う活動の場合、公益性、公共性のあるものか</li> </ul>
<p>一見華やかに見える名東区藤が丘駅周辺ですが、公団、市営住宅約440戸のうち、約半数の218戸が独居高齢者となっており、この方々の孤立化、孤独死が深刻な問題となっています。このイベントが、藤が丘の高齢者が相互にまた地域と交流して元気になっていただくきっかけとなるよう活動します。</p> <p>PPKグループは、毎朝のラジオ体操、週1回のPPKゴルフ（マレットゴルフ）などの活動をしており、イベントの参加がきっかけとなって、PPKの活動に参加いただくことにより、健康寿命の増進につながると考えています。</p> <p>また、このイベントは名東区社会福祉協議会の後援のもと、藤が丘中央商店街振興組合に協力頂き、駅前周辺の約30店舗の協賛を予定しています。</p> <p>今年は二回目となりますが、第1回目の昨年度はテレビ取材3件、新聞掲載1件の実績となっております。</p>	
審査基準② 独創性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創意工夫にあふれた活動か</li> <li>・地域性を活かした個性豊かな活動か</li> <li>・新しい視点やアイデアがあるか</li> </ul>
<p>近年、ハロウィンの仮装は人気のイベントとなってきていますが、若者を中心がほとんどであり、高齢者に限定した仮装フェスティバルは珍しいと考えます。高齢者の多い地域で高齢者に限定したイベントを行うことで、普段は家にこもりがちな高齢者が外に出て笑顔で楽しめる場所を提供する活動となります。</p> <p>仮装するという、非現実的な行動は刺激の少なくなりがちな高齢者にとって仮装を考える楽しみ、準備をする楽しみ、仮装する楽しみなど様々な刺激があり、また良い思い出作りともなりえます。</p> <p>また、商店街の仮装パレードで地域の方々との交流、子供たちとの交流することにより、地域の活性化につながります。核家族化が進んでいる現在において、異世代間の交流は相互に良い体験となります。</p>	
審査基準③ 実現性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案内容が具体的になっているか</li> <li>・自己資金を含め、活動内容や資金計画などは妥当か</li> </ul>
時期	活動内容
平成27年4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 平成28年1月 2月 3月	実行委員会発足 会場、控室等予約、パレード等申請 広告宣伝、協賛募集開始、 参加者募集、運営ボランティア募集、ポスター掲載 審査員、来賓招待状送付、参加者打ち合わせ 実施報告書作成

助成を受けようとする活動項目ごとの支出内訳書(ページが不足する場合は別紙にご記入下さい。)

工 事 目 ○	活動項目	内訳	金額(円)
	謝金	司会者、音響スタッフ	65,000円
	交通費、衣装費	仮装コンテスト、コスプレ出場者、よさこいシニアグループ	130,000円
	広告費、印刷費	デザイン一式	60,000円
	通信費	立て看板、ポスター、チラシ	160,000円
	消耗品費	会員及び関係者へのチラシ郵送	43,000円
	その他経費	審査員、来賓への招待状郵送	
		文具、インク、リボン	20,000円
		保険料	10,000円
	計	都市センター助成金 300,000円 自己資金(注) 188,000円	488,000円
		「提案したまちづくり活動に係る経費」のうち工事にかかる経費	0円

(注) 自己資金には、他の助成金等を含めることはできません。

<b>審査基準④</b> <b>発展性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか</li> <li>・助成後に地域まちづくり活動への波及効果があるか</li> </ul>
	<p>活動拠点である藤が丘で当イベントを行うことにより、PPKグループの活動を地域の方々に知っていただくことが出来ます。地域の方々、特に高齢者の方々に当法人の活動を知っていただき、イベント実施後、ラジオ体操やPPKゴルフ(マレットゴルフ)など、PPKをめざす楽しい健康づくりに参加していただくことで、健康寿命の増進に寄与できます。高齢者が生き生きと元気に暮らす活気のあるまちづくりの一助となります。昨年度はイベント実施後会員数が1.5倍となりました。</p>
<b>審査基準⑤</b> <b>活動実績</b> <b>と主体性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか (団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等をご記入ください。)</li> <li>・具体的にどんな熱意を注いでいるか</li> <li>・工事を伴う活動の場合、自ら主体となって工事を行い、継続的に維持管理する能力があるか</li> </ul>
	<p>PPKグループは、名古屋市名東区藤が丘町内会、有志の役員及び民生委員が発起人となり、近郊の志ある知人、友人に呼びかけ2014年6月に設立。高齢者が中心となり、高齢者のための活動を中心に地域に密着して行っています。</p> <p>PPK(ピーピーケー)とはピンピンコロリの頭文字で、「ピンピンと健康に生きてコロリと逝く」という高齢者のための健康維持活動の標語であり、健やかに長寿を全うする運動の名称です。</p> <p>現在の平均寿命と健康寿命は約10歳の開きがあり、高齢者の医療費増大が深刻な社会問題となっています。また、核家族化により独居高齢者も増加しており、高齢者の孤立化、孤独死なども問題となっています。当法人はPPKを合言葉に日頃の活動を通じて楽しく健康づくりを行っております。</p> <p style="text-align: center;"><b>【理 念】</b></p> <p style="text-align: center;">PPKグループは高齢者と児童の健康な生活を維持し より健康になるための機会を提供します 行政、自治会、団体等と協力し 健康な生活を提案する活動をします</p>

※第2号様式は、3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とします。